

2018年11月

「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ 番外編

Since1998



「恥ずかしい」のはどっちだ 差別する側・される側 ～江嶋修作～

稚拙な同和教育を批判するときに誰もが一度は口にするタテマエ・タテジワ・タニンゴト。創唱したのは、社会学者の江嶋修作（77）だ。40年に亘り同和教育の変革を訴え続け、意識革命の端緒を開くとともに、多くの青年たちも育てた。今、江嶋が提唱するのは「人権 テイク・ルート（根を張る）」。各地に「人権の根を張って生きる」個人をつなぐ取り組みだ。部落差別解消推進法の施行後の今、新しい解放教育とは？

シリーズ番外編 「恥ずかしい」のはどっちだ 差別する側・される側～江嶋修作～

(2018年11月完成／27分作品)
ライブラリー価格 50,000円+税



原点は狭山事件だった

社会学者として狭山事件に関わったことが部落問題との出会いだった。聞き取り調査を通して生まれた思い。それは、差別問題への関わりは“情と共感”抜きに成立しないという確固たる信念だった。

一貫して変わらぬ視点

1985年、一冊の本が出版された。やがて多大な影響を及ぼすことになった江嶋修作編“社会「同和」教育変革期”だ。新しい同和教育への熱い思いを込めて、「変革期」に「つくりかえ」とルビが打たれた。

人権 テイク・ルート(根を張る)

2018年10月、「人権 テイク・ルート」の初総会。江嶋修作を敬愛するたくさんの老若男女が全国各地から駆けつけた。「差別は醜いこと」だから「カッコよく」生きる。江嶋修作の撒いた芽が花開こうとしている。

第1巻 「更池の語り部」—吉田小百合—

第2巻 「人の値うちを問う」—江口いと—

第3巻 「あした元気になあれ」—松村智広—

第4巻 「人の世に熱と光を」—清原隆宣—

第5巻 「峠を越えて」—森口健司—

第6巻 「差別っていったい何やねん」—川口泰司—

第7巻 「人間の尊厳を求めて」—森田益子—

第8巻 「ぬくもりを感じて」—中倉茂樹—

第9巻 「私からはじまる人権」—柴原浩嗣・宮前千雅子—

第10巻 「えびす舞に思いをのせて」—辻本一英—

第11巻 「あすなろを生きる」—野上早苗—

第12巻 「若い力は今」—吉岡綾一—

第13巻 「母娘で問うた部落差別」—坂田かおり・愛梨・瑠梨—

第14巻 「人権感覚を磨きませんか」—大湾昇—

第15巻 「夫婦で差別と闘います！」—石井眞澄・千晶—

第16巻 「ドラゴン流 “人権とダンス”」—松本柳子—

第17巻 「仕事作りが私の仕事」—植並鈴枝—

第18巻 「無知を許さず」—浦本誉至史—

第19巻 「差別を許さない自分づくり」—長谷川サナエ—

第20巻 「52歳の立場宣言」—岡潤爾—

第21巻 「結婚差別 400事例」—弘瀬喜代—

第22巻 「心の窓を拓いて」—明石一朗—

第23巻 「歩(ふ)の歩み 80年」—山本栄子—

第24巻 「皮革から見える部落問題」—柏葉嘉徳—

第25巻 「芸能と差別」—中西和久—

第26巻 「生きた童話を届けたい」—筑豊大介—

第27巻 「出会いから学ぶ」—高田美樹—

第28巻 「夢のために」—中山末男—

第29巻 「私は変わることができる」—西村敦郎—

第30巻 「差別を問うた 20年 / 29の証言」

第31巻 「ありのまま生きる」—坂田愛梨・瑠梨—

第1巻～第10巻／DVD-BOX I(1巻～10巻)

DVD(字幕無し)

第11巻～第31巻／DVD-BOX II(11巻～20巻)

DVD(字幕 有/無 選択可)